

研修参加者の学び(施設ごとの集計) 9施設

* 計画病院

長崎県島原病院

- ・回復期では、さらにリハビリスタッフが病棟内に入り、チーム医療としている事が分かりました。入院時から退院支援の必要性を改めて認識しました。
- ・施設・在宅へ向けて、回復期・維持期でADLの拡大をしていくのに、急性期を退院する時にどの程度の支援が必要か、もっと詳しくサマリーで伝えていく必要がある事が分かりました。

* 1段階の連携病院

愛野記念病院

- ・退院支援をしていく中で、患者さん家族の思いを受けて、看護師としていかにレベルアップをし、次の施設の維持期につなげていくかとても勉強になりました。この研修を病院へ持ち帰り伝達したい。
- ・様々な職種が関わりカンファレンスを定期的に行っている事や、ベッドサイドのホワイトボードでADLやケアの注意点が共有出来ているなど、取り組みや工夫がみられて良かったです。今後も、病院と施設の垣根を越えた情報交換の場に是非参加したいと思います。

安藤病院

- ・島原病院では、早期離床の取り組み、MRSAの対応等色々急性期の看護師の患者への関わり方を勉強させて頂きました。
- ・小浜病院・老健おばまでは、回復期・維持期での患者様の関わり方を実際に見学できて、今後の自分の仕事に参考になる事が沢山ありました。
- ・今回参加が出来て大変良かったと思います。有難うございました。

池田病院

- ・サマリの内容を検討し、患者様にあつた情報を提供していきたい。

貴田神経内科・呼吸器・内科病院

- ・研修に参加させて頂き、急性期～維持期の病院・施設でそれぞれ求められる看護・ケアを根拠を元に業務の改善を行いつつ、継続性を意識しながら早期に患者様がその人らしさを取り戻せるように取り組んであった。その為には、いかに地域内での病院の連携・他職種との情報の共有が必要であるかと再確認できました。
- ・パスの活用や研修会でのコミュニケーションが大切であると理解できました。
- ・急性期・回復期・維持期がそれぞれの役割があり、お互いが自分の所だけではなく、連携し次の段階を考えた支援をする必要性を感じました。
- ・あと、自分の病院が周りに比べて、勉強不足や組織としての役割の不足を実感しました。
- ・学ぶことは、学びました。

口之津病院

- ・サマリーだけでなく実際のリハ場面も見学させて頂けたので良かったです。
- 有難うございました。
- ・急性期のリハビリの効果、特殊性を学ぶ事が出来良かったです。

柴田長庚堂病院

- ・入院してから退院までの流れを知る事が出来、今後の業務に生かせそうです。

* 2段階の連携施設

真寿苑

- ・解決できました。日常の生活の中で、病状変化に気をつけて早期発見に努めたい。
- ・解決できました。

NPOLしまばら

- ・ケアの統一の徹底方法がすごく参考になりました。
- ・病院の急性期・回復期・維持期が一つの場所にある事は、すごく情報の急が出来、スタッフ一同で取り組むところが良かったし、参考にさせて貰いたいと思います。
- ・生憎グループホームは介護職だけです、利用者様が入所される際にしっかりと病院側より情報を多く(細かい処まで)提供して貰い、維持していけたらと思います。
- ・法人内でのみでの介護になってしまっていたが、地域全体で(急性期・回復期)連携の重要性を痛感し、情報収集の仕方もアセスメントやサマリからのみ情報を収集するだけではいけないし、今後の業務に役立てていきたいと思っております。有難うございました。
- ・身体を動かすだけがリハビリではなく、生活全般がリハビリだと思いました。
- ・利用者様を受け入れる際に、多くの情報を収集し、安心して暮らして頂けるようなシステムを作る為にも、今回の研修は大変有意義だったと思います。有難うございました。
- ・回復期での1日のスケジュールが決まっていて、それに関わるスタッフの方も皆一緒になり患者様を支えているのだと思った。
- ・老健おばまさんを見学させて頂き、職員数が少ないながらも色々と工夫をして利用者様に関わっていたので真似してきたいと思った。